

かわさき し こ
川崎市子どもの権利に関する
じょうれい あ
条例当てゲーム
けんり かん



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



あさ よる
朝も夜も
た 食べるもののがなく、
うんこもでない。
ずっとおなかが
すいているから、
た 食べるもののがほしい。



A

おとなに相談したら、

こども食堂や市民団体の施設など、

無料で栄養のあるご飯が食べられる場所が

あることを教えてもらった。



B

お金がないのでご飯を買うことができず、

食べ物をもらえる場所もない。

食べることができず栄養失調になる。



I. 安心して生きる権利

たとえば…



- ・おとなが味方になってくれるのは安心する。
おとなは助けてくれる存在でいてほしい。
- ・心がつらくて悩んでいた子がいたけど、
家族や保健の先生に話を聞いてもらい、
お医者さんも協力してくれて少し落ち着いた。



- ・授業中に頭が痛くなり、先生に言ったのに
何もしてくれなかった。
- ・門限を過ぎると、叱られるだけでなく夕飯が抜きになる。





じぶん す いろ ふく
自分が好きな色の服を
き 着ていたら
おとこ おんな こ いろ
「男(女)の子らしい色に
しなさい」と
おや い
親に言われた。

A

市民館での「子どもの権利ワークショップ」に

親子参加した。

親も子どももそれぞれの考え方が

違うことも学べたし、

他の人と比べられることも減っていった。

B

おや
親の気持ちもわかるけれど、

い
言われるたびにやっぱりつらい。

じぶん
この
う
い
自分の好みは受け入れてもらえないんだなと

おも
思っている。

2. ありのままの自分でいる権利

たとえば…



- ・**交換日記は誰にも見られたくない。**
み こうかん にっき だれ
見られたら友達にも申し訳ない。
み ともだち もう わけ
- ・**自分ができないことに目が向いてしまっていたが、**
じぶん め む
自分にできることを磨いていこうと頑張り、自信がついた。
じぶん みが がんば じしん



- ・**友達と好みが合わないのに、「あなたも一緒にしなよ」と友達に言われる。嫌だと言えない。**
ともだち この あ いっしょ
ともだち い いや い
- ・**本当は水色のランドセルが良かったけれど、**
ほんとう みずいろ よ
親に気をつかって赤にした。
おや き あか





SNSでつながった人と
メッセージのやりとりを
していたら、相手から
あいて
気持ち悪いことを
き も わる
い 言われた。

A

かわさき し そうごう きょういく そうだん
川崎市総合教育センターに相談したら、

はなし き
話を聞いてくれて、

どうしたら良いかアドバイスをもらえた。

かか
プライバシーに関わることだからはっきりと断り、

つうほう
SNSの通報ボタンをおして、

あいて
相手のことはブロックした。

B

一度写真を送ったら、別の写真を送るなど、

どんどん要求がエスカレートしていった。

写真から通っている学校を特定され、

「断ったら学校に行く」と

おどされるようになつた。

じぶん まも まも けんり 3. 自分を守り、守られる権利

たとえば…



- ・子どもの権利チェック表があり、
子どもの権利が守られているか確認できる。
- ・子どももおとなも相談できる市の窓口があるので、
嫌なことやなやんでいるときは電話ができる



- ・グループラインでひとりだけ退会させようとしたり、
SNS上での仲間はずれが気軽に起きている。
- ・内科検診の時にスマックを着て音楽室からの移動中、
友達に「見せて」と言われ上半身を見せた。
断れなかった。自分の体を守れなかった。



じぶん はい
自分が入っている
サッカーチームの
コーチから
いやなことを言われる。



A

おや そうだん たの
親に相談し、楽しくプレイできる

べつ うつ
別のチームに移った。

いま たの つづ
おとなになった今も楽しくサッカーを続いている。

B

そのスポーツ^{じたい}自体^すは好きだったけど、
自信^{じしん}を無くし、結局^{けっきょく}やめてしまった…
もうあれ以来^{いらい}一度^{いちど}もやっていない。

4. 自分を豊かにし、力づけられる権利

たとえば…



- ・音楽がしたいと言うと、親がどこでできるか一緒に調べてくれた。
- ・特別支援学級でうどん教室をしている。
できないことではなく、できることを伸ばすことが大事だと思う。



- ・やりたいことがあったのに、「どうせできないんだから」と言われて何も言えなかった。
- ・習い事の途中で友達の体調が悪くなったが「どうせ嘘だろ!」と言われ休めなかった。





なら ごと りょうしん す
習い事で両親が好きな
バドミントンを
しているが、
ほんとう おんがく
本当は音楽をやりたい。



A

勇気を出して、
ゆうき だ

ずっと音楽をやりたかったと伝えたところ、
おんがく つた

両親が理解してくれて
りょうしん りかい

音楽を始めることができた。
おんがく はじ

B

勇気を出して、

ずっと音楽をやりたかったと伝えたところ、

「音楽よりバドミントンの方が楽しいでしょ」と

流されてしまった。

5. 自分で決める権利

たとえば…



- ・自分のしたいことを自分で考えてから、親に伝えられるようになった。
- ・親がすすめた部活はすぐにやめてしまったが、自分が希望した部活は長続きしている。自分で決めることができたと思う。



- ・自分のやりたいことや、どうありたいかを自分で考えて決められるチャンスが少ない。
- ・自分で決めたことの結果がうまくいかなかったとき、親に「だから言ったじゃない！」と言われてしまった。失敗を受けとめてフォローするおとなが必要だと思う。





ちいき
地域のお祭りに
しゅってん まつ
出店しようと思ったら、
おも
ひとり
「一人だし、
こ
子どもだからダメ」と
い
言われてしまった。



A

ともだち はな いっしょ
友達に話したら一緒にやろうと言ってくれた。

にん いじょう おや しょうだく え
5人以上で親の承諾を得たら

できるとわかったので、

なかま あつ じゅんび すす
仲間を集めてしっかりと準備を進め、

しゅってん
出店することができた。

B

やっぱり子どもじゃできないのかと思^{おも}い、
だれにも相談^{そうだん}せずにあきらめた。

さんか

けんり

6. 参加する権利

たとえば…



- ・生徒だけで校則を決める学校がある。
- ・公園でリフティングが禁止されてしまったが、学校に相談したら校庭を解放してくれた。



- ・公園のルールを子どもたちで考えて作ったが、管理団体はそれを取り入れてくれなかった。
- ・公園でサッカーのリフティングをしていると注意されるのに、おとのゲートボールは注意されない。みんなが使う場所でのボール遊びの在り方を考えるべきだと思う。





がいこく 外国から来たばかりで
ことば 言葉がわからず
こま 困っている。
おや こま 親も困っている。

A

日本語の支援員が学校に来て、
わかる言葉で話してくれた。

先生が、わかりやすい日本語で話してくれた。

市民館では日本語教室があり、
そこでボランティアさんや地域の人と
関わり始めることができた。

B

支援しえんしてくれる制度せいどがあるかわからず、

そのまま教室きょうしつで授業じゅぎょうを受けている。

友達ともだちとの会話かいわは少しずつできるようになってきたが、

授業じゅぎょうの内容ないようはよくわからないままだ。

親おやもどこに相談そうだんしていいかわからない。

7. 個別の必要に応じて 支援を受ける権利

たとえば…



- ・地元の中学校では、一人ひとりの勉強のペースに合わせてサポートが受けられる「ステップアップ」というクラスがある。
- ・バスケで足を怪我した子がいたが、みんなのサポートで学校のイベントに参加することができた。



- ・怪我をしていたから、自然教室や運動会に参加できず休んだ。
- ・身体のことなど、同じ性別の人相談したい。